

スーパーセンターアマノの食育パーパス



食を通じて健康と豊かな消費生活を提案する「食育コミュニケーション活動」に取り組み、

美味しくて体に良い食材や その食べ方を勉強し、SDG s 達成や、

地域社会とお客様へ貢献できる店づくりを目指します。

従業員育成と食育の普及

- ・食育を推進できる社員教育を行い、従業員の働きがい、地域貢献の意識を高める。
- ・毎月1回の店頭イベント「食育応援週間」の実施により、健康的な食生活を提案する。



食文化の継承

- ・地域の伝統食のコーナー展開。レシピの店頭配布などを通じて郷土の食文化を紹介する。
- ・学校での食育授業や体験型イベントを開催し、店舗内外で食と健康に関わる情報を発信する。



学校や地域社会との食育連携

- ・中学校との「食育コラボ弁当」の開発販売。学校祭でも販売し地域の食育普及を図る。
- ・食生活改善推進員提案の「減塩レシピ」や、野菜ソムリエ監修の「栄養弁当」の開発販売。



おしごとと体験イベントの実施

- ・小学生を対象としたイベントの開催。
- ・調理やレジでの接客を通じ、おしごとへの難しさ、喜び、楽しさ、感謝の気持ちを学び、「食」への関心を深める機会を提供する。



地産地消の推進

- ・青果、鮮魚売場に産地直送コーナーを設置。農産物、海産物を中心とした地場産品の積極販売で地産地消に貢献する。
- ・地元メーカー、生産者と連携した催しや、共同開発商品の製造販売を実施。



生鮮食品ロスの削減

- ・販売数・陳列数を見直し、仕入と製造の過剰を防ぎ、割引や手直し加工で商品売り切る。
- ・SDG s 達成に向けた資源の持続可能な管理、リサイクル・リユースを推進する。

